

# 25年度 山桜の里 戸赤 戸赤区総会



## 山菜入山券販売 功労者表彰



1位室井正司さん



2位星光美さん



3位小椋俊幸・  
代理由典さん



4位星隆雄さん

5位小椋一さん(欠)

16人出席4人欠席の区総会(上)

戸赤区総会が三月十日開催されました。役員改選はなく、区長代理出張の手当が一部改正されたほかは、全部原案どおり承認されました。山菜入山券の売り上げは年々減少し、区の有力な財源が危うくなっていることなど報告されました。村づくり実行委員会総会も併せて行われ、自然体験交流施設やまざくら、水車式木地工房、炭生産組合の事業と会計状況が審議されました。



地域づくりの勉強会として希望者募って開かれた「しもごう地域連携塾」

「しもごう地域連携塾」で情報交換  
下郷町内の各地で村おこしに取り組んでいる人やこれから人かやるうとしている人達が集まり「しもごう地域連携塾」を立ち上げた。

## 高齢化とどう向き合うか・白河湯沢地区が研修に來所

白河市湯沢地区営農改善組合 16 人が戸赤の村おこし活動を視察に訪れました。冬期間のため閉鎖中のやまざくら学校でしたが、宿泊体験施設や写真展示館を見学し、15 年度から始まった村おこし活動や平成 18 年度からの学校利用状況など研修していきました。湯沢地区でも高齢化とどう向き合っていくかが課題ということでした。



花豆の取り組みにより戸赤が選ばれました

## 山桜まつりの実行委員会役員会 4/2 午後 6 時・集会所(予測では、山桜まつり準備 4/21・イベント 4/26・4/27 ごろか)

【木地の学習No.29】氏子狩り帳については、すでに序章第 5 節で簡単に触れたが、ここでは、会津の氏子狩りについて考察してみたい。元文五 (1740) 年に調整された蛭谷氏子狩り帳には、帳始めとして近江国麻生木地山を巡回したのが記され、その三年後の寛保三 (1743) 年岩瀬郡湯本木地小屋へ来たのが東北地方最初の氏子狩帳とされている。この時は湯小屋 (現・二股温泉) 板小屋、更目木小屋 (共に現・天栄村) の 3 小屋を巡回し、氏子料と初穂を徴収している。白河領まで来て、なぜ会津領へ入らなかったのだろうか。あるいは、会津領内でも氏子狩りをしたが、氏子狩帳に記載しなかったのだろうか。板小屋へ来たのが寛保三年七月一日で、その後 7 月の中旬にはすでに信州を巡回しているので、時間的経過を考えると天栄村の 3 小屋の後、直ちに信州へ向かったのは間違いない。従って会津の順回はなかったと考える方が妥当であろう。なぜであろうか。恐らく氏子狩が出来ない大きな事情があったであろうことは想像にかたくない。これを物語る資料は蛭谷にも会津側にも見出されないため、大なる疑問として残されたままである。(会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より) (つづく)



山桜のパネルで戸赤をPR

山桜を物産展と  
パネルでPR  
【新宿】

東北観光物産展&桜街道パネル展に戸赤の山桜が出展され観光PR

に参加しました。新宿駅西口広場で2月24・25日に行われました。

花豆の新製品誕生



花豆シフォンケーキが道の駅しもごうの店頭に並びました(平野さん作)

福島県が運営しているホームページのリンク集「新発売ブログ」に花豆関連の情報がたくさん載っています。知り合いに広げて下さい。(www.new-fukushima.jp) 【これより下段の記事】

花豆栽培講習会

あおい情報員【会津・南会津地区】のブログ

高野加工品研究会 (下郷町)

2013年1月19日  
あおい情報員【会津 南会津地区】  
高野加工品研究会 高野まゆみさんから届きました。

高野加工品研究会で高野まゆみさんから、「高野加工品研究会」が主催する「花豆栽培講習会」の開催が決定し、下郷町内(高野)地区に於いて、高野まゆみさんから「花豆栽培講習会」を開催することになりました。

講習会を開催するにあたっては、高野まゆみさんから「高野加工品研究会」が主催する「花豆栽培講習会」を開催することになりました。

講習会を開催するにあたっては、高野まゆみさんから「高野加工品研究会」が主催する「花豆栽培講習会」を開催することになりました。

講習会を開催するにあたっては、高野まゆみさんから「高野加工品研究会」が主催する「花豆栽培講習会」を開催することになりました。

講習会の様子

高野まゆみさんから「高野加工品研究会」が主催する「花豆栽培講習会」を開催することになりました。

講習会を開催するにあたっては、高野まゆみさんから「高野加工品研究会」が主催する「花豆栽培講習会」を開催することになりました。

講習会を開催するにあたっては、高野まゆみさんから「高野加工品研究会」が主催する「花豆栽培講習会」を開催することになりました。

(花豆の学習№28) 作物の生育に必要な不可欠な要素の作物に対するはたらき(生理作用) 【炭素C】炭水化物・タンパク質・脂質等有機化合物の構成元素、光合成に不可欠 【水素H】炭水化物・タンパク質・脂質等有機化合物の構成元素、水の構成要素 【酸素O】炭水化物・タンパク質・脂質等有機化合物の構成元素、吸に不可欠 【窒素N】タンパク質・核酸・葉緑素等の主要構成元素、生育の促進 【リンP】核酸・核タンパク質・リン脂質の構成成分、エネルギー代謝に関与、開花結実の促進 【カリウムK】光合成・炭水化物の蓄積に関係、開花結実の促進 【カルシウムCa】ペクチン酸と結合し、植物細胞膜の形成等に関与、根の生長促進 【マグネシウムMg】葉緑素の構成成分、光合成に関与 【イオウS】含硫アミノ酸を構成 【鉄Fe】鉄タンパクとして酸化還元反応・光合成に関与、マンガンとの拮抗作用あり 【マンガンMn】光合成に関係、酸化還元反応などの賦活剤 【ホウ素B】リグニン・ペクチンの形成に関与、花粉・花芽・花粉管の生育に関与 【亜鉛Zn】各種酵素の雇用要素 【銅Cu】チトクロムa、アスコルビン酸酸化酵素などを構成 【モリブデンMo】硝酸還元酵素を構成、根粒菌の窒素固定に関与 【塩素Cl】光合成に関係 【ニッケルNi】ウレアーゼの構成元素 【ケイ素Si】水稻葉の組織の強化、耐病虫性の増加、水分代謝の調整 (『作物栄養診断とその活用』JA全農大阪肥料農業事業所より) (南会津農林事務所農業振興普及部資料から) (終わり)